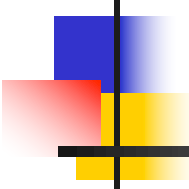


One for Israel



ダビデ王、ソロモン王時代の紫布の繊維 発見

2021.4.5



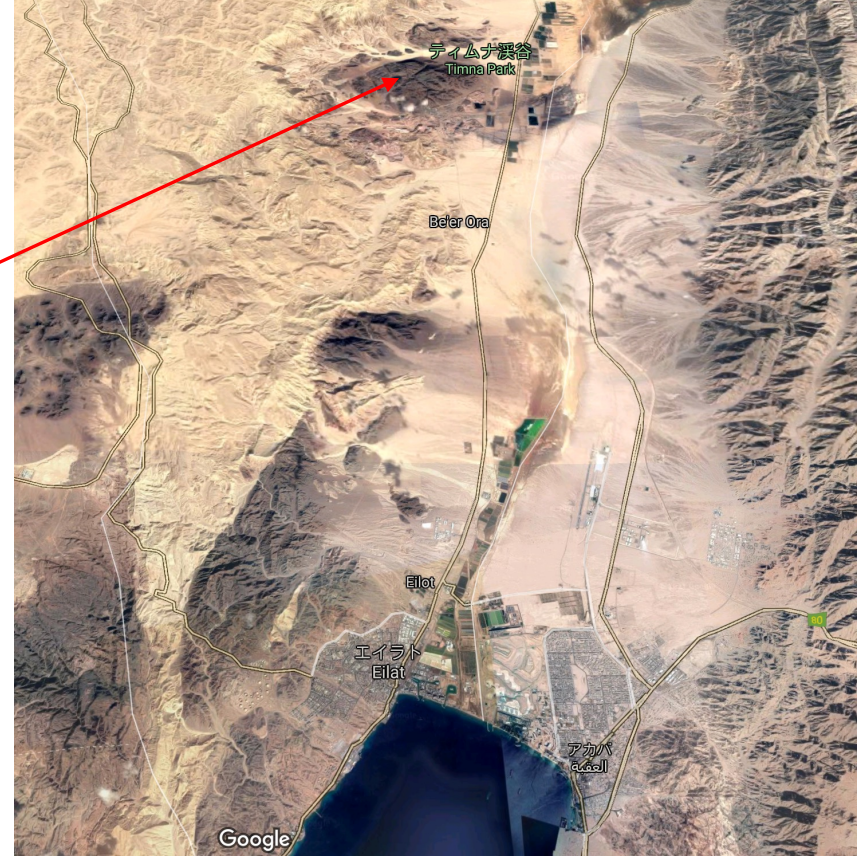
2021年1月下旬
イスラエル南部の
砂漠地帯にある
ティムナ溪谷で発見

ティムナ溪谷は古代
の銅の生産地

極めて乾燥した砂漠
地帯の為、良い保存
状態であった。

ティムナ溪谷②

【1】今回の発掘についての背景









テイクナ溪谷⑥ 幕屋の原寸大の模型

【1】今回の発掘についての背景





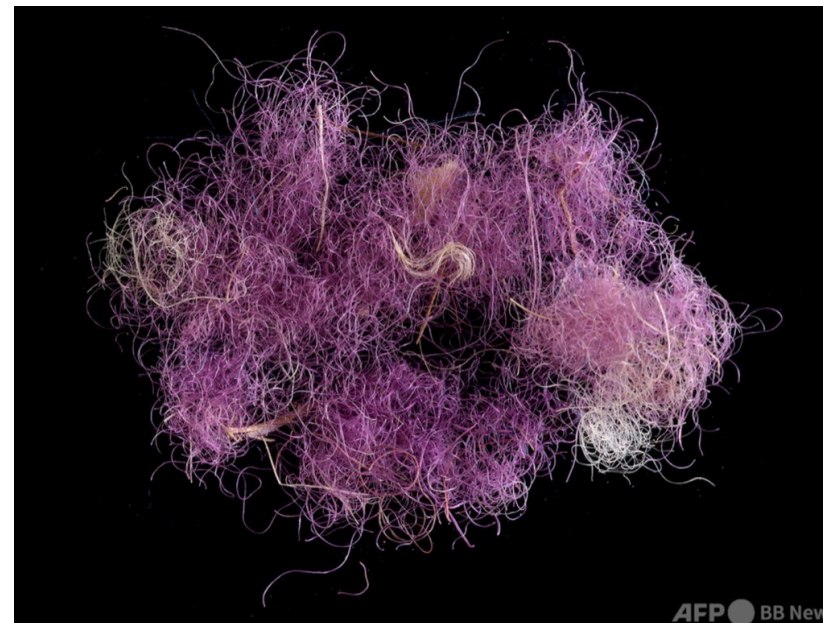
イスラエル考古学庁
による考古学調査団

テルアビブ大学のエレ
ツ・ベンヨセフ教授

専門は鉄器時代

放射性炭素年代測
定により、紀元前
1000年ころと特定

ダビデとソロモン時代



最も高価な紫色の染料は、アキ貝の分泌物から採取された。

古代イスラエルにおける紫布産業の痕跡は、

巻貝の貝殻や紫の染料が付着した陶器の破片など間接的証拠のみしかなかった。

3,000年間保存された紫の染料で染めた布の繊維という直接的証拠の発見



紫は王族、貴族、祭司と関連付けられる色。

ローマ時代、「紫の血統」というのは、貴族を表す語であった。最近の研究では、この純粋な紫色は日に当たると、スカイ・ブルーに変色することがわかっている。

ユダヤ人の外蓑のふさには、紫色の糸が一本織り込まれていた。

紫布の商人リディアは、裕福で影響力のある婦人であった。

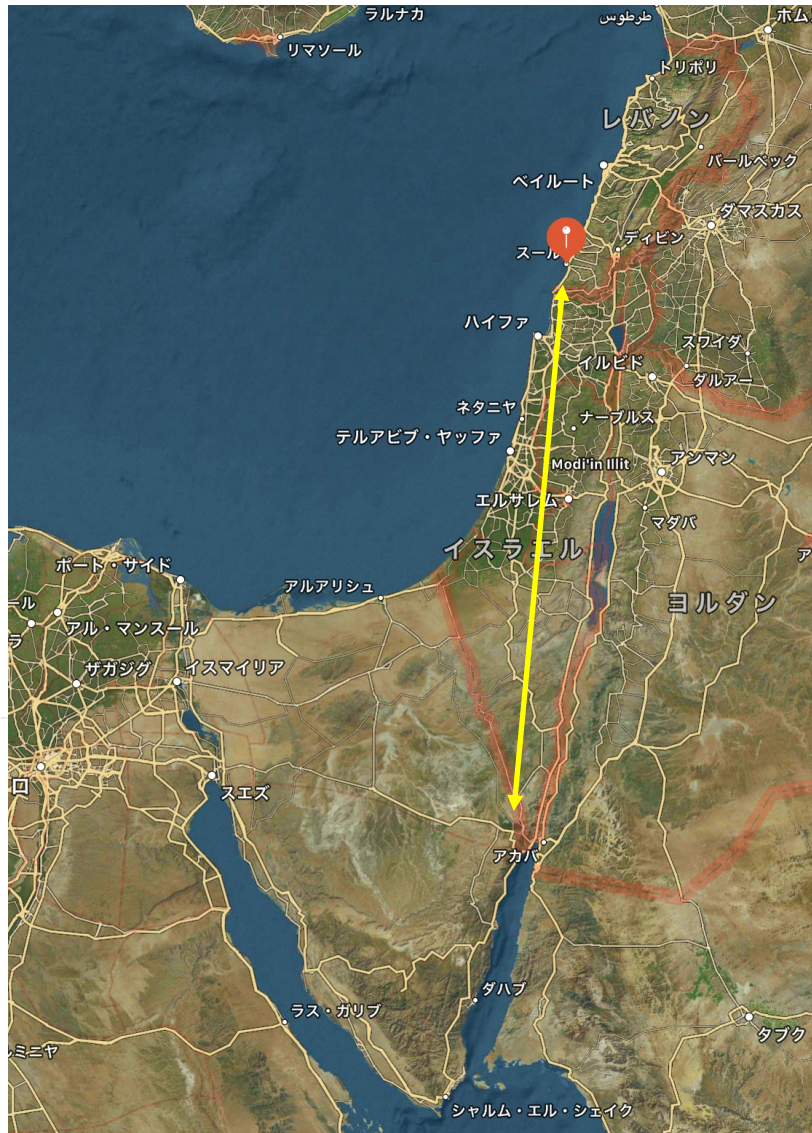
純粋な紫色に手が出せなかった人たちは、ヒヤシンスなどから取った代用品の染料で間に合わせていた。

(使徒16:14)

14 リディアという名の女の人が聞いていた。ティアティア市の紫布の商人で、神を敬う人であった。主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた。

ツロ (スール)

【1】今回の発掘についての背景



- 古代フェニキアの製法で作った紫の染料は現在 グラム当たり270万円。(金はグラム当たり6,000円) 1グラムの染料を得るには巻貝54kg 必要
- 染料の生産地は フェニキアの都市ツロ。現在 レバノン南部のスール。地中海沿岸の都市。染料の原料となる巻貝の生息地。
- 発掘現場のティムナ(イスラエル南部の砂漠)とは300キロもの距離。
- 染料の抽出、染色技術を開発したのはフェニキア人。海上交易で繁栄。
- 青と紫の染料の原料は 同じ巻貝。曝露する光の量が多いと青。少ないと紫。

A 幕屋と祭祀の装束で多用される3色の一つ

【2】聖書と紫布、紫の撚り糸

- ✦ **青**（テヘレット）：イスラエル国旗の青。神性、天のもの。
- ✦ **紫**（アルガマン）：ロイヤル パープル。ツロのパープル(英語でティリアンパープル) 王様、富、高い地位。
- ✦ **緋**（シエニ）：ラハブの赤い紐(ヨシュア2:18) 人類を贖う神様のご計画と関連。
赤を意味するエドムとは異なる-->エドムは、人間(アダム)、血(ダム)と同じ語源

①三色の組み合わせ

(出エジ25:3-4)

彼らから受け取る奉納物は次のものである。金、銀、青銅、青、紫、緋色の撚り糸、亜麻布、やぎの毛、

(出エジ28:33-34)

その(祭司の装束)裾周りには、青、紫、緋色の撚り糸でざくろを作る。

②単色の布

(民数記4:5-6)

真っ青の布を あかしの箱の上に広げる

(民数記4:13)

紫色の布を 祭壇の上に広げる

B 王様が身につける物

【2】聖書と紫布、紫の撚り糸



(雅歌 3章9~10節)

ソロモン王は、レバノンの木で自分のために駕籠(かご)を作った。その支柱は銀、背は金、座席は紫布で作り、内側には、エルサレムの娘たちの愛の切りばめ細工が施されている。

(ヨハネの福音書 19章1~5節)

それでピラトは、イエスを捕らえてむちで打った。兵士たちは、茨で冠を編んでイエスの頭にかぶらせ、紫色の衣を着せた。彼らはイエスに近寄り、「ユダヤ人の王様、万歳」と言って、顔を平手でたたいた。ピラトは、再び外に出て来て彼らに言った。「さあ、あの人をおまえたちのところに連れて来る。そうすれば、私にはあの人に何の罪も見出せないことが、おまえたちに分かるだろう。」イエスは、茨の冠と紫色の衣を着けて、出て来られた。ピラトは彼らに言った。「見よ、この人だ。」

王様ごっこの為に 王を象徴する紫色の衣が使われた。ピラトによる2回目の裁判。この出来事の後、十字架による死刑判決。

悪意で行われた行為だが、イエス様こそ真の王であることが紫色の衣によって示された。



いけにえを献げる祭壇の上に 広げられた紫布。民数記4:13

祭壇：罪のための犠牲のいけにえが 献げられる

イエス様は、私たちの罪のために究極の犠牲のいけにえとして、ご自身を献げて下さった。私たちの身代わりのいけにえとして祭壇に献げられたイエス様が紫色の布に包まれた。

究極のいけにえとして、イエス様をご自身の血を流された。私達が神のご臨在に近づくことが出来るようになるため。贖罪の御業を成し遂げ、三日目に復活された。

+紫は イエス様が私たちの大祭司であることを表す

+紫は イエス様が真の王であることを表す

すべての栄誉と栄光と賛美を受けるにふさわしいお方である!

イースターの季節 イエス様の贖罪の御業を覚えて 感謝をささげましょう!

